

【22_345技術系メルマガ】スキャルピングが難しいと思う理由

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

最近のメルマガで「スキャルピング」についての話に少し触れたりしていましたが

それに伴ってか、この点の深掘りを希望する質問が結構多くありました。

▼質問はコチラ▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/2022-12-12.png

こちらは、元々アンケートを寄せてくださった方のコメントですが、最近のメールへの質問でも

「スキャルピングとデイトレで、考え方は一緒なのか？違うのか？」というポイントを知りたいというリクエストが沢山ありました。

あくまで、僕自身の憶測も混ざってしまう事は承知頂いたうえで、この先を読み進めて貰えればと思います。

「
■ 方法論は違っても、原則は変わらない
」

結論は、サブタイトルの通りなのですが。

では、トレードにおける『原則』とは何かというと、それはどんなトレードスタイルにしても共通している

『相場は確率論に基づくこと』と、『一貫した試行母数(トータル)で稼ぐ』ということです。

つまり、細かく刻むトレードであろうと、長く持つトレードであろうと

1つ1つの勝ち負けの結果を積み重ね、最終的にプラス収支に持っていくやり方で一貫しなければならぬのは同じであるということです。

では、それを踏まえて僕が「スキャルピングは難しい」と考える最大の理由は

『常にスプレッド分だけこちらが不利である』という点です。

例えば、常に10pipsのリスクを取って30pipsの利益を取りに行くデイトレスタイルであれば常に損切りのリスクは

プラス数pipsのスプレッドも加えると、最終的に獲得できるリワードは1.8-1.9程度になるでしょう。

それでも、勝率が50%程度保てているなら、余裕でトータルの収支はプラスになります。

一方スキャルピングの場合には、恐らくですがもっと1回に取りに行くリワードは小さくなると思われます。

加えて、「手数＝エントリー回数」が増えるわけなので、そのたびに『スプレッドによるコスト』がついてくる。

そう考えると、相当の勝率を確保できないと、数を打つほどマイナスの方が詰みあがってしまいトータルの収益はプラスにならない。

そして、型の定着が不十分な状態でそれをやると、コツコツと損切り貧乏状態に陥り

最終的に一発逆転を狙いたい衝動に駆られて、ルールに背いたロットでエントリーし始めて

「ドカン」が発生してしまう。

そんなお悩み相談はかなりの頻度で僕のもとにもやってきます。

いずれにしても、トレードにおける収支の根幹となるのは

『勝率』『リスクリワード』両者のバランスによって導かれる期待値です。

リスクリワード1:1なのに勝率が50%では精々トントン。理論上はスプレッド差で負け続けることになるし

リスクリワード1:3出やっても、勝率10%では当然積み上げプラスにはなりませんよね。

このような計算上で自分の型がプラス収支になるかどうかを確認しないといけないから

『型を一貫させる事』が最重要課題になるし、それに基づいてフォワードテストの結果を集計する検証が必要なわけです。

僕は特に、自分の感覚といったあいまいな要素を信じていないので(ゼロにはできないとは分かったうえで)

自分の検証に基づく『数値データ』を最大の根拠にして、今の型を構築しています。

いつか、スキャルピングトレードでしっかり結果を出している人に巡り合えた時には

気になることを色々訊いてみようと思います(笑)